

# 備えで変わる防災



## 避難勧告等の名称が変更されました

市は、災害の発生する危険性が高まった場合、起こりうる災害種別に対応した区域に避難勧告等を発令し、皆さんに避難や避難準備を呼び掛けます。

平成28年8月に発生した台風10号による水害は、東北・北海道の各地で甚大な被害をもたらしました。

また、この災害では、高齢者施設などで避難が遅れ、被災者

が出る事例が発生しました。これをきっかけに、高齢者などが避難を開始する段階であるということを確認するため、『避難準備情報』は『避難準備・高齢者等避難開始』に、『避難指示（緊急）』に名称変更されました。

○『避難準備・高齢者等避難開始』

・いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は避難を開始しましょう

・避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方など）は避難を開始しましょう

○『避難勧告』

・外出することがかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難をしましょう

## 日頃の『備え』が大切な命を守る

市は『登別市地域防災計画』に基づき、隔年で総合防災訓練を実施するほか、行政機関や各種団体などと協定を結び、災害時に円滑に対応できるよう準備しています。

そして、市が行うこのようなさまざまな取り組みだけでなく、皆さんの防災意識の向上が、災害時の大きな助けとなります。災害発生時に慌てるのか、冷静な対応を行うのか。その行動を決めるのが、事前の『備え』ではないでしょうか。

自分自身を守る『備え』、そして、いざというときに周囲の方と助け合うための『備え』についてもう一度見つめ直し、私たち一人ひとりがどのような『備え』をするべきか考えることが大切です。

一人でも多くの命を守るための『備え』を今日からはじめてみましょう。

災害が発生すると、水や電気、ガス、通信機器の機能などが利用できなくなる恐れがあります。復旧までの間、自宅で生活できるよう、水や食糧、生活用品などを備蓄するほか、避難が必要になったときにすぐに持ち出せるよう、前もって非常用持出品をリュックサックに詰めるなどの準備をしておくことが大切です。

## 非常用持出品チェックリスト

- 飲料水 (500ml×家族人数分)
- 非常食
- 皿、コップ
- 携帯ラジオ (予備電池も)
- 懐中電灯 (予備電池も)
- 携帯電話 (充電器、バッテリーも)
- 筆記用具
- ビニール袋
- 帽子、ヘルメット
- 軍手
- 常備薬
- 洗面道具
- ティッシュペーパー、ウェットティッシュ
- 貴重品 (現金、預金通帳、印鑑、権利書、健康保険証、身分証明書など)
- その他、各人で必要なもの (乳幼児のいる方は離乳食など)

※衣類など、季節によって必要なものは変わります。食糧品などは賞味期限があるため定期的にチェックしましょう。

### 冬季に役立つ持出品

- 新聞紙
  - ・掛け布団として使う
  - ・服と服の間に入れて断熱材の代わりに使う
  - ・足元が冷えるときは靴下を履いた上に新聞紙を巻き、上からさらに靴下を履いて暖をとる
- 食品用のラップ
  - ・食器にかぶせることで皿を汚さずに済む
  - ・新聞紙をお腹に巻き、その上からラップを巻くことで保温する
- アルミホイル
  - ・容器の代わりになる
  - ・他の材料と組み合わせで簡易コンロやランプとして利用できる
- カイロ
- 毛布
- 厚手の服

問い合わせ  
総務グループ  
(☎85)1130